- (1) 主題名 世界の平和と人類の幸福〔中学校4-(10)〕
- (2) ねらい 国際的視野に立って,世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする態度を養う。

(3) 資料名 「一億一千万個の地雷」(出典:中学道徳2 光村図書)

資料の概要

地雷で傷ついた1枚の幼い少女の写真。憂いを帯びた瞳は,見る者の心を揺さぶる。対人 地雷による犠牲者は今この瞬間にも出ている現実。そして,地雷に囲まれ,死と隣り合わせ の生活を余儀なく強いられている子どもたちの生活を通して,世界平和と人類の幸福につい て考える。

(4) 学習指導過程

	学習活動	主な発問と生徒の心の動き	留意点
	1 写真を見て感	この写真を見て,どう思いますか。	意見が出た後 ,地雷の事
224	じたことを発表	・悲しそう	故にあったことを伝え,
導	する。	・ケガをしている	地雷について説明をす
		どんな事故で少女はケガをしたと思	る。
入		いますか。	
		・交通事故	
	2 次似大士/元	・戦争	ᄁᄼᅺᄀᄱᆕᇰᄬᇰᄼ
	2 資料を読んで	地雷に囲まれて生きている子どもた	現存する地雷の数の多
	地雷に囲まれた 子どもたちの生	ちの暮らしを想像してみよう。 ・いつも不安な気持ちで暮らしている	さを意識させる。
	活について考え	・遊ぶ時も安心して遊べない	
	る。	・地雷をいつ踏むか不安で,命の危険	
	∙ం	と隣り合わせで生きている	
		死と隣り合わせに生きるとはどんな	死と隣り合わせで生活
		ことだろうか	している状況を具体的
展		・心からのびのびとできない	に想像させるようにす
/t \		・生きていることがありがたいと感じ	る。
		3	
		・いつも危険を感じて,自分を守ろう	
		とする	
開		・常に命を失うかも知れないという不	
		安がある	
	3 地雷の禁止に	どうして絵本の作者は,このような	絵本「サニーのゆめ あ
	向けて努力して	絵本を書こうと思ったのか	りがとう 地雷ではな
	いる人がいるこ	・地雷に被害にあった人たちが気の毒	く花をください」(自由
	とを伝え、絵本	だったから	国民社刊)を使う。
	を紹介して読	・自分にできることが,絵本で多くの	
	む。	人に呼びかけることだったから	
	4 教師の説話を	地雷撲滅のために努力している人を	結論を出すことよりも、
終	聞き,どう行動	紹介します。みんなだったら,地雷	一人一人が深く考える
絵	するか考えてみ	をなくすために,どうしますか。考	ような余韻を持たせて
	る。	えてみましょう。 ・この事実をみんなに話す	終わるようにする。
末		・絵本を買って地雷撤去の募金に協力	
		・版本を負うと地質版会の券金に協力しまる	
		9 0	

実践報告にみる留意事項

1 資料・題材について

「一億一千万個の地雷」という資料は, 手と足に包帯を巻いて憂いを帯びた目で遠 くを見つめている少女の写真が印象に残る ものである。

戦争の世紀といわれた20世紀から平和な21世紀へ。世界中の人たちが平和を願っている一方で、戦争や紛争が終わった地域でさえ、現在も、地雷の被害に遭っている人がいることや地雷に囲まれて生活している子どもたちの現実がある。

この現実と地雷撤去に向けての取組みが あることを知り,世界の平和や人類の幸福 のために何ができるのか考えさせたい。

2 指導過程の工夫

主題を世界の平和と人類の幸福[4-(10)]に設定し,導入では1枚の写真を提示し,生徒の興味関心を引きつけるよう工夫した。

展開では,地雷に囲まれた生活を強いられている子どもたちの心情について考えさせるようにし,中心発問は,絵本を使って行い,生徒の興味関心を高める工夫を行った。

終末ではこれからどうすべきか,解決策を出し合うというのではなく,余韻を持って終わることによって生徒一人一人の心に 平和の大切さについて考えようとする心情を耕すことを意図した。

関連項目としては生命尊重[3-(2)]が考えられるので、その際は、誰もが幸福に生きる権利の基盤には生命の尊重があることをおさえておきたい。

3 発問の工夫

1枚の絵を見て考える,資料のデータから考える,絵本を聞いて考えるというふうに,見て・聞いて考えるようにし,生徒の関心をそらさないように工夫した。

特に、「死と隣り合わせで生きるとはどんなことだろうか」という発問によって地雷がもたらす恐怖とともに生活している子どもたちの現実を深く考えさせたい。自分たちにはあって彼らにはないもの、逆に彼らにはあって自分たちにはないものについて考えることによっても、平和について様々な考えが深まめることができた。

4 生徒の反応

地雷の数の多さにびっくりした生徒,地雷に囲まれた子どもたちの生活について考える中で,自分たちにできることは何かないかと真剣に考える生徒が多かった。

- ・絵本は読んだことがあります。どうして,戦争をするんだろう。戦争によって一番傷つくのは子どもたちだ。
- ・地雷がそんなにもあるなんて知りません でした。遊んでいて地雷の被害に遭うな んて日本では想像できない。私ができる ことを何かしたいと思いました。

5 授業後のフォローアップ

社会の授業で学習しことや,地雷に関するニュースや資料を集め,教室に掲示し, 調べたことを交流しあった。

(八次中学校)